

第91号

令和6年9月30日 発行

茶業会議所広報

発行所

(公社)静岡県茶業会議所
静岡市葵区北番町81番地
電話〈054〉271-5271(代)
FAX〈054〉252-0331
<http://shizuoka-cha.com/>

● 国庫事業【持続的生産強化対策事業】●

「新たなクラフトティーの開発」

近年は食の志向が多様化し、お茶は若者や女性を中心に「香り」に特徴を見出し評価する傾向が強くなり、より嗜好飲料に変化してきています。

良質茶を生産する川根本町を対象に、ゆずやしそ等の地域資源を活用しながら、緑茶や和紅茶をベースにした豊かな香りを楽しめるお茶や、そのお茶を利用した菓子などの新商品開発を進めています。さらに、香りに特徴のあるクラフトティーづくりの基本となる良質茶生産の情報について、映像化を図り、海外も含めた消費者への理解促進と共に、川根本町等の小中学校の茶育での活用を図ることを目的に進めています。



● 県ChaOIプロジェクト推進事業 ●

「東京上野地区商店や企業（事業者）らとの連携」

世界中から消費者が集まる東京上野の商店街や企業（事業者）らと連携し、静岡茶の持続的な販売促進、販路開拓を目指します。インバウンドや国内観光客が回復し、観光や芸術を求める上野地区の需要ニーズの変化に対応し、多様なお茶に興味を持ってもらう仕組みづくりを進めています。また、実践的なマーケティング研修会を重ね、自身のお茶の強みを理解し、販売力の向上を図る研修会を開催しました。

第78回全国お茶まつり静岡大会 開催!!!

キャッチフレーズ：はままつ 茶+（読み：はままつ ちゃぷらす）

11月2日(土)～3日(日)に開催される「第78回全国お茶まつり静岡大会」では、多様性に富んだ魅力を持つ“浜松市”と“お茶”とを組み合わせることにより、お茶の新しい価値や愉しみ方を提供したいという思いを“+”(ぷらす)というシンプルかつ馴染み深い記号で表現することにより、お茶の新しい可能性(魅力)を未来へ発信していきます。



第78回 全国お茶まつり静岡大会 はままつ 茶+
◆ 大会式典 11月2日(土) 浜松市福祉交流センター
全国茶品評会【出品茶展示・審賞授与式】
◆ はままつ 茶+ 11月2日(土)・3日(日) 浜松城公園

公式アンバサダーには、
静岡発アイドルグループ「Fishbowl」が就任

①第78回全国お茶まつり静岡大会 大会式典		
令和6年11月2日(土)	14:00～16:00	浜松市福祉交流センター ホール
②お茶関連資材展	令和6年11月2日(土)	10:00～16:30
③消費拡大イベント		
①物産展(ブース出展)	令和6年11月2日(土)～3日(日)	10時～16時
②ステージイベント	令和6年11月2日(土)～3日(日)	10時～16時
サテライト会場(浜松磐田信用金庫)	令和6年11月2日(土)	4階ゆめおいホール
全国茶品評会		
[1] 審査会	令和6年8月27日(火)～29日(木)	
※擬賞会議	令和6年8月30日(金)	株式会社静岡茶市場
[2] 入札販売会	令和6年9月12日(木)	
[3] 品評会出品茶展示	令和6年11月2日(土)	浜松市福祉交流センター 4階小ホール
[4] 褒賞授与式	令和6年11月2日(土)	浜松市福祉交流センター ホール
茶生産青年の集い		
[1] 茶審査技術競技会	令和6年11月1日(金)	株式会社静岡茶市場
[2] 茶業青年のタペ	令和6年11月1日(金)	ホテルアソシア静岡
[3] 褒賞授与式(農林水産大臣賞)	令和6年11月2日(土)	浜松市福祉交流センター ホール

新規 お茶販売のサポート パンフレット完成 販売開始!!

主な「お茶の種類」、「お茶の品種」、「全国のお茶産地」、「お茶を買う時のポイント」、「お茶の淹れ方」など、お茶に関する情報をスマートに紹介。お客様のお好みのお茶探しをサポートするパンフレットです。

A5判横 16ページカラー 1部 55円(税込)【送料別】
(1部からでも発注可能)

購入フォーム⇒QRコードにてお申込みください。



◆令和6年度予算◆

令和6年度の茶業振興費については、下記のとおりです。

1 茶業振興費の徴収

茶業振興費の徴収方法は、従価制とし、茶業会議所・会員及び茶業会議所が徴収を委託した株式会社静岡茶市場が徴収する。

2 茶業振興費の負担額

(1) 生産割 売り手（生産者）が負担し、徴収者に預ける。

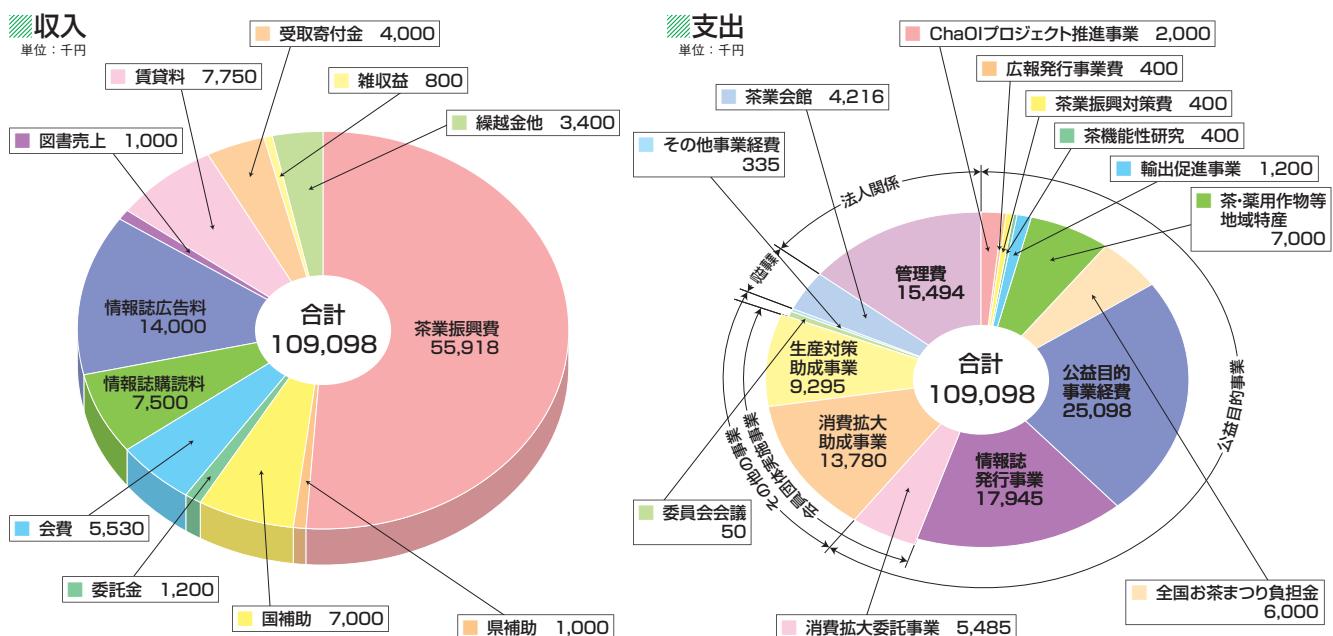
粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価 - 粉引額）×0.1%

(2) 宣伝割 売り手（生産者）、買い手がそれぞれ負担し、徴収者に預ける。

売り手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価 - 粉引額）×0.18%

買い手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価 - 粉引額）×0.18%

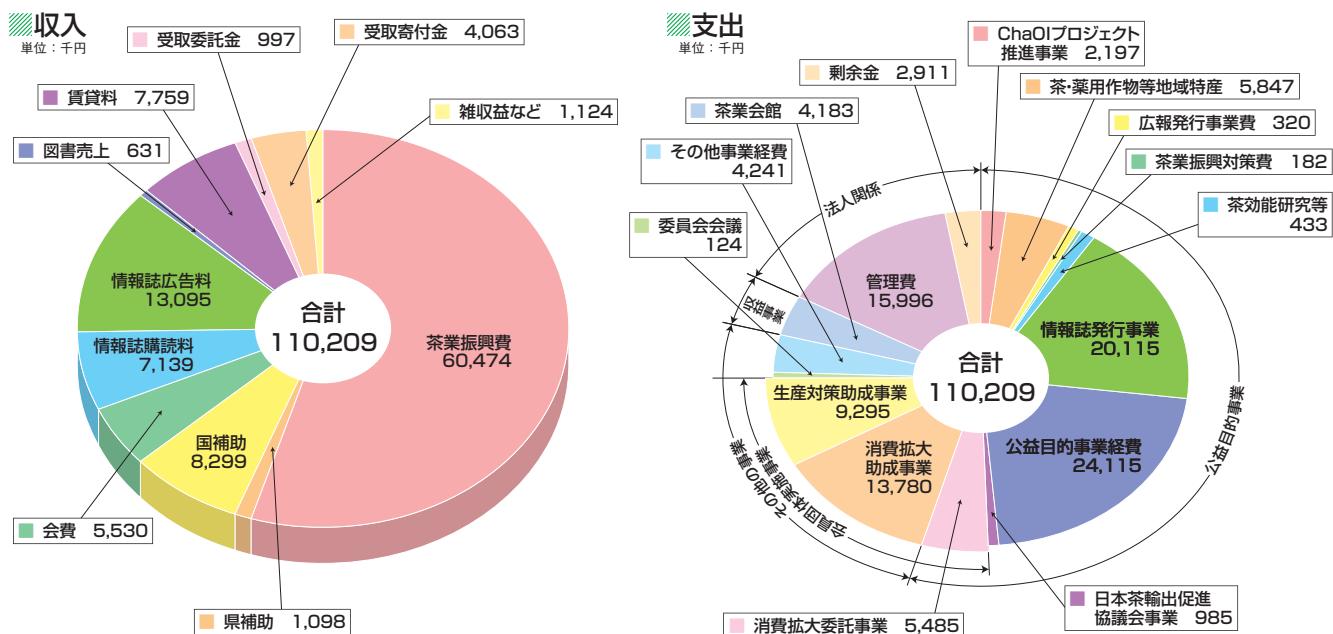
■皆様の茶業振興費は、このように使われます。（R6.3.14 理事会で承認）



◆令和5年度決算◆

令和5年度事業につきましては、令和6年6月24日(月)に開催した総会において承認されました。

■皆様の茶業振興費は、このように使われました。





国庫事業【持続的生産強化対策事業】

「食の変化・エシカル消費に対応したお茶の需要創出」

近年の食の変化に対応し、若い世代にも関心が寄せられるようにラテやロイヤルミルクティ等に適応可能なお茶とお茶を使ったスイーツ類の新商品開発を進めました。玉露2種と和紅茶（藤枝かおり）、玉露2種の粉末を利用したジェラートやチョコレート、アイスキャンディーの試作を進めました。

また、栽培に手間をかけて丹精込めて作る玉露について、産地としての映像をまとめ作成しました。藤枝市内の小中学校の茶育や教育委員会への働きかけなど、広く発信しました。さらに、伝統文化を重んじる國學院大學の学生に向けてお茶の魅力についての講義を行いました。



朝比奈玉露動画

県事業 [ChaOIプロジェクト推進事業]

「アウトドア×お茶」

アウトドアシーンや野外での活動において、静岡県ならではのお茶の活用を図ることを目的に、アウトドア業界や異業種との繋がりに挑戦をしている茶生産者を中心に検討会を重ねました。子育て世代への販路開拓や耕作放棄茶園の再生作業を併せたツアーモデルケース作り、さらに「お茶×焚き火×お茶サウナ」をテーマにしたアウトドアイベントを開催し、自然の中でお茶を楽しむスタイル提案を行いました。



生産対策助成事業（県経済連へ助成）

国内外の消費者に安全・安心・良質で多様な静岡茶の供給をするための栽培・製造指導、各種研究会を開催しました。また、基盤整備や改植の推進、茶工場の経営強化、低コスト化に向けた管理指導、生産者と実需者とのマッチングに取組み、静岡茶ブランドの強化を図りました。



静岡県茶業者集会

技術員全体会研修会
静岡県農協茶担当会茶審査技術競技会
第38回静岡県茶生産青年

茶の機能性研究等事業

公開シンポジウムの開催

令和5年12月2日(土)「地球にやさしい中国茶交流会」にてオンラインを併用し、公開シンポジウムを開催しました。「お茶の淹れ方とおいしさを科学する～最近の話題～」というテーマで2講演を実施しました。

第39回茶学術研究会講演会

令和6年2月29日(木)茶学術研究会と共に開催による「第39回茶学術研究会講演会」を開催しました。茶の機能性などに関する一般講演(7課題)及び特別講演(1課題)を講演しました。

日本茶輸出促進協議会事業

日本茶輸出促進協議会からの委託を受け、昨年度に引き続き、モデル地区を各3ヶ所設置し、有機栽培の状況確認や、残留農薬分析及び成分分析、土壤分析(一番茶、秋冬番茶)を行いました。また、ドリフトとコンタミの可能性について検証などを行い、輸出向け抹茶製造の実証栽培を行いました。

静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶處静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業や消費拡大を目的とした宣伝・啓発活動、後継者の育成を行いました。



ジャパンキャンピングカーショー(幕張)

(横浜)
全国ふるさとフェア

淹れ方教室

(横浜)
全国ふるさとフェア

淹れ方教室

(横浜)
淹れ方教室

令和
6年

令和6年度副知事への新茶贈呈

摘みたての瑞々しい新茶を贈呈し、新茶の魅力を発信するため、静岡県庁本館前にて本県茶業関係者及び県内16産地の贈呈者による静岡県副知事への新茶贈呈式を令和6年5月10日に開催しました。



令和6年度杉山彦三郎賞の表彰

杉山彦三郎翁顕彰会は、令和6年5月1日、下記4名、1団体を杉山彦三郎翁賞受賞者として表彰を行いました。(敬称略)

◇茶業振興功労賞 松永大吾(71)、成岡揚蔵(70)
長谷壽一(86)、寺田順一(85)

また、やぶきた原樹の管理保全活動に尽力された、有度やぶきた会へ感謝状を贈呈しました。



令和6年度茶業功績者表彰

本県茶業の発展向上に顕著な功績のあった者や集団を表彰し、茶業の振興に資することを目的とする功績者の表彰を令和6年6月24日に行いました。(敬称略)

◇松永大吾(71)、塩澤勝義(74)



NPO法人 茶と人フロンティア静岡会議の設立

お茶は、日本文化にとってかけがえのない存在です。近年その継承が非常に困難な状況になっています。多様化する消費形態に伴い、嗜好飲料の種類の拡大もあり、リーフ茶の需要が減少しています。品質の良い茶葉を生産する中山間地においては、傾斜地が多く機械化にも限界があるため、香りや味わいなど、お茶そのものの価値の向上を図るとともに、お茶をもっとよく知ってもらう取組が必要です。

また、お茶にまつわる本県の歴史や食文化の見直し、東海道22次の地域とのつながり、地域産業とのコラボの推進と合わせて、お茶の魅力づくりを行っていくことも重要です。さらに、お茶に関する様々な歴史的資料を取り纏め、情報発信していくことも求められています。

このため、日本のお茶の歴史や文化の醸成に重要な役割を担ってきた静岡のお茶を次の世代につなぎ、持続可能な静岡の茶業を確立するため、新しい発想で広く内外に情報発信し、モノづくりやコト起こし活動を展開するとともに、お茶をつうじた人材育成や地域産業の発展に様々な場面で寄与することを目的に本法人を設立しました。

※どなたでも会員申込が可能です。

- ・個人会員／1口 1,000円～
- ・法人会員／1口 10,000円～

活動内容・会員申込はこちら⇒



世界お茶まつり2025 光輝燐然！#私のO-CHA和ールド開催決定!!

[春の祭典] 令和7年4月19日(土)～5月21日(水)

会場：ふじのくに茶の都ミュージアム、静岡茶市場、県下全域及び首都圏、関西圏

「絶景フォトコンテスト」「お茶巡りツアー」「新茶フェア」「スマホdeスタンプラリー」など、新茶の緑が映える美しい季節に、食や体験などのお茶関連プログラムを実施します。

[秋の祭典] 令和7年10月23日(木)～10月26日(日)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」ほか

「ワールドO-CHAマーケット」「SweeTEAペアリング」「世界の路上茶屋体験」

「世界緑茶会議・茶学術研究会」など、国内外の様々なお茶を飲めるコーナーや、お茶や茶器の販売、新しい時代のライフスタイルに合ったお茶の提案などが楽しめます。



※尚、プログラムの内容は、変更する場合があります。